

## 2006年度 (第33巻1号～第33巻3号) 著者索引

- ア行**  
 阿知波 左千子  
 腹部IVRにおけるFlat Panel Detector搭載Cone-beam CT の有用性の検討  
 第33巻第3号 p134(22)～139(27)
- 天神 美穂  
 頸動脈のCTAにおける造影剤濃度 (300 mgI/mLと370mgI/mL) の比較検討  
 第33巻第2号 p80(24)～76(30)
- 稲田 悠紀  
 男性プロラクチノーマの画像所見  
 第33巻第1号 p10(10)～14(14)
- カ行**  
 掛田 伸吾  
 直接変換方式フラットパネル検出器搭載血管造影装置を用いたコーンビーム CT; 悪性腫瘍のIVR 治療における有用性  
 第33巻第3号 p140(28)～145(33)
- 倉持 好夫  
 Imaging Plate (IP) を用いたComputed Radiography (CR) による喉頭部多層断層撮影法  
 第33巻第3号 p146(34)～153(41)
- 興梠 征典  
 巻頭言 FPDによるコーンビームCTの進歩  
 第33巻第3号 p117(5)
- サ行**  
 篠原 広行  
 断層映像法の基礎 第19回 画像の位置合わせ  
 第33巻第2号 p91(35)～98(42)
- 断層映像法の基礎 第20回 画像の相互情報量  
 第33巻第3号 p154(42)～160(48)
- タ行**  
 高野 英行  
 初期3DCTからFlat-detector Angiographic CT (FACT:DynaCT) までの臨床経験  
 第33巻第3号 p118(6)～125(13)
- ハ行**  
 橋本 東児  
 IVRにおけるフラットパネル搭載C-armCT : DynaCTで可能となる新たな展開  
 第33巻第3号 p126(14)～133(21)
- ヤ行**  
 吉田 敦子  
 副鼻腔アスペルギルス症のMRI～慢性副鼻腔炎との鑑別・加療についての考察  
 第33巻第1号 p5(5)～9(9)
- 吉田 大作  
 特異な骨転移像を呈した縦隔精上皮腫の一例  
 第33巻第2号 p87(31)～90(34)